

協議の進め方について（実現プラン）

1 役割分担の決定（※各自いずれかの役割を担うこととする）

《グループ協議》

- ・ グループリーダー（1名）→協議の進行と協議結果の発表
- ・ 副リーダー（1～2名）→リーダーの補佐
- ・ 書記（1～3名）→結果を模造紙や提出用紙等に記載
- ・ タイムキーパー（1～2名）→時間配分の調整

2 実現プランについて

《グループ協議》

（1）実現プランを抽出〔90分〕

- ①実現方策に基づき『地域でできること』『協働で取り組むこと』を念頭において実現プランを付箋に記載する。付箋を、実現方策ごとに貼る。〔40分〕
- ②実現プランを検討し、まとめる。〔40分〕
- ③実現方策ごとにまとめた実現プランを、様式2に記載する。〔10分〕

【例】テーマ：観光 ※裏面の事例を参考としてください。

福祉	（目標）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○		
	実現方策：○○○○○○○	実現方策：○○○○○○○	実現方策：○○○○○○○
健康	（目標）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○		
	実現方策：○○○○○○○	実現方策：○○○○○○○	実現方策：○○○○○○○
安全・安心	（目標）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○		
	実現方策：○○○○○○○	実現方策：○○○○○○○	実現方策：○○○○○○○

<全体協議>

（2）実現プランの整理〔20分〕

- ①各グループの協議結果を発表（グループリーダー）する。※各5分以内
- ②質疑応答。
- ③各グループから発表された実現プランについて協議し、整理を図る。

<全体協議>

(1) 実現プランを設定する

① 実現プラン（案）について全体で協議し、実現プランを設定する。

【事例】

テーマ：観光

<p>(目標) 魅力あふれた観光と交流の盛んな「まち」</p>		
<p>実現方策：自然を観光に活かす</p>		
<p>遊歩道の散策ガイドを作成する</p>	<p>自然に対して興味を持ってもらうような野外キャンプを体験する</p>	<p>農業体験教室を開催する</p>
<p>動植物の生息地のパンフレットを作成</p>	<p>ネイチャー教育ができる指導者を育成する</p>	<p>ホテルの観察会やフクロウの観察会、またカブトムシの採集と育て方などのイベントを企画する</p>
<p>「トトロの森」というようなテーマや場所を作り、子どもたちへ自然の楽しさを伝える</p>	<p>谷川での自然観察会を実施する</p>	<p>大人が自然の中での遊び方を子どもたちに教え、自然について学ぶ</p>

実現方策が入っています。

実現プランを付箋に記載して、ここに貼って、まとめて下さい。